

F

ootball

D

ream

C

omes

T

rue

秘めた才能が開花したことで
ネイマールの人生が変わった

取材に訪れた日は、ちょうどネイマール・ジュニア君の14回目の誕生日だった。約2週間の遠征を終えたばかりで、ネイマール・ジュニア君にとっては久しぶりの我が家だったのだが、海に面したブライア・グランデ市にある彼の自宅では、誕生パーティーらしきものは何も行われなかった。

「もうすぐ、我々家族の運命が決まるのだからね」

こう語ったのは、父ネイマールだ。今では息子が世間の注目を浴びているが、実は昔、彼もプロサッカー選手だったという。小さなクラブを転々とし、途中、交通事故という不運に見舞われた。現役引退は32歳のときで、ストライカーとしては平均的な選手だったようだ。

好きなサッカーを職業に出来たことはよかったが、現役を引退したとき、彼には何も残らなかったという。貯金もなく、あったのは、現在住んでいる自宅があるブライア・グランデの土地と、父親から教えてもらった自動車修理の技術だけだった。

そしてネイマール一家4人は、父親の家の居候として2年間を過ごし、友人たちの協力により、やっとのことで小さな家を建てて独り立ちできたのだった。

今振り返っても、それはとても辛い毎日だったという。

「引退をした時、自分は戦いに負けたと感じたね。敗北感を味わったんだ。それは、想像を絶するほど大きなフラストレーションだったよ」

そんな苦痛を味わった父ネイマールだが、このとき、まさか神様が自分の息子に“特別な才能”を与えてくれたとは想像もなかったことだろう。

「確かに息子がサッカーをしている姿を見ていて、上手くボールを蹴ったり、身体の使い方もすごくいいと感じはしていた。だが、その才能を発掘してくれたのは別の人だったんだよ」

天才サッカー少年の描く夢

「ネイマール君とその家族の未来」

文●大野美夏
Text by Mika Ohno
写真●マウリッソ・ソウザ
Photo by Maurício Souza

FootBall LIFE